


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25年 1月 30日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名		
大阪府堺市株式会社プリメール開発によるアミューズメント施設においての高効率照明を用いた温室効果ガス排出削減プロジェクト		
GHG 検証機関		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド	
担当部署名	テクニカルグループ GHG チーム	
責任者名	飯尾隆弘	
責任者 E-mail	Takahiro.iio@lrqa.com	
責任者電話番号	045-682-5290	
審査員名 ¹	主任審査員: 川元 蔭(検証の全ての部分を担当する) 技術専門家: テクニカルレビューワー: 飯尾隆弘(検証の最終レビュー及び当該検証業務の責任者)	
機関要件への合致	JIS Q14065検証部門認定済みであり、当制度における温室効果ガス(GHG)妥当性確認及び検証機関の登録要件を満たしていることを確認しています。	
検証報告書発行日	平成25年1月30日	
検証結果		
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.2	
検証期間	平成24年 11月 30日～ 平成25年 1月 29日	
現地審査	期間	平成25年 1月 17日 ～ 平成24年 1月 17日

		<p>事業者、プロジェクト、バウンダリ、ベースラインシナリオ等の再理解の為に、契約直後にフェーズ1審査として戦略的分析及びリスク分析を行なった。現地検証は、フェーズ1審査のデスクレビュー(戦略的分析、リスク分析及び検証計画立案)実施の後、ステージ2審査として下記項目等を目的として行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係者のインタビュー 2. 周辺環境の把握 3. プロジェクト実施後の照明設備の状況把握 4. プロジェクト管理体制の把握 <p>この現地検証により判明した事は、次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 照明は問題なく設置され稼働していること、対象店舗の営業時間・形態なども計画時同様であることをヒアリングにて確認した。 2. バウンダリについて、妥当性確認時からの変化として1店舗が他社譲渡により外れ、残り4店舗によりプロジェクトが実施される扱いとなったが、これによる継続性・算定には問題がないことを確認した。具体的には、実施前・後ともに当該1店舗を範囲外と扱うとする計算方法を、保守的に計算されるため問題なしとした。 3. 更新された照明は、おおむね計画通りに稼働している事を確認した。一部故障と思われる状況があったが、随時修理・交換により対応しており、プロジェクト実施に影響を及ぼす規模ではなく、算定上も事業者には不利にはならない状況であった。 4. 管理体制については、営業時間、営業日の管理・記録が適切にできており、問題がない事を確認した。モニタリングはモニタリング計画書に従って実施された事を確認した。その結果として計測値に更なる補正の必要がない事が判明し、最終検証結果としている。 				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	0	0	0	67.5	43.0
検証結果の要約		<p>当社は株式会社プリメール開発から依頼された表記のモニタリング報告書(最終版Ver.2.0)に対して、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則(Ver.4.0)、モニタリング方法ガイドライン(削減プロジェクト用)(Ver.3.1)、オフセット・クレジット(J-VER)制度妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.2)、適用ポジティブリスト/方法論、ISO14064 Part1及びPart3、IAFガイドライン等に従い、重要性の量的基準値5%、合理的保証を保証水準として検証を行なった。その結果として、当該プロジェクトの申請対象期間の削減量について、無限定適正、即ち、全ての重要な点について適正であると認める。2011年4月1日から2012年9月30日までの期間の当プロジェクトの削減量は、110t-CO2であることを確認した。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。